

1. 布の魔術師、新井淳一の集い開く

テキスタイルプランナー、新井淳一さんは実にさまざまな称号を持っています。「布の魔術師」、「日本が誇る世界のテキスタイルデザイナー」、「織物界の奇才」などなど。その新井さんが英国王立芸術協会（RCA）から名誉博士号を授与されたのと、合わせて傘寿と初の評伝「新井淳一布・万華鏡」の発刊を祝った「集う会」が3月10日、東京・一ツ橋の学士会館で開かれました。

新井さんは、群馬県桐生市の機屋に生まれ、「子供のころから糸を入れる木箱で遊んだ」根っからのテキスタイルマン。地元の桐生高校を卒業し、家業の機屋を継ぎましたが、その天与とも言える創造性は、次々といままでにない織物を生み出し、やがて「世界の新井」として知られるようになりました。

1970、80年代に三宅一生、山本耀司などがパリコレクションで高い評価を受けるようになった際、デザイナーの創造力を刺激するテキスタイルでファッション・デザイナーとのコラボレーションを実現した以降も、手わざとコンピューターを駆使した前衛的なテキスタイルを創造し、国内はもとより、世界各地で展覧会を開催し「新井淳一のテキスタイルの世界」のすばらしさと繊維産地「桐生」の名前を広めました。

新井さんは、テキスタイルプランナーを自称する一方で、民族衣装収集・研究者でもあり、中国人民大学客員教授をつとめるなどの教育家の顔も持っています。天与の才は、テキスタイルにとどまらず、「書」の腕前も第一級で読む人の感情に沁みる美しい文章のエッセイストでもあります。

「集う会」で、発起人代表のわたなべひろこ多摩美術大学名誉教授は「世界史に残る布を創造した新井さんは、20世紀の繊維文化に新しい窓を開けた」と述べました。この10年で2度、がんの手術を乗り越えた新井さんは、三宅一生さんが制作したガウンをまとって「一人の力はほんのわずかなもの。皆さんに深く感謝、感謝します」と短い謝辞を述べました。会場を埋めた約150人の参加者の誰もが、大震災後の日本における新井さんの「最新の布」を見て、触れたいと願っていることがその表情からうかがえました。

2. 2012-13年秋冬ミラノコレクションに、高貴な女性が溢れる

2012-13年秋冬ミラノコレクションは、ノーブル（高貴）で貴族的なウエアが発表されています。甘いシャーベットカラーやホワイトの明るい色彩が提案された12年春夏シーズンと打って変わり、緊張感のある重厚なカラーやシルエットが中心になっています。オーバーサイズのレザーコートやボリュームたっぷりのファーコートがランウェイに登場し、強い女性像がミラノに出現。こうした重厚なアウターに合わせるのはブラックやパープル、深いグリーンといったカラーリングです。さらにフォルムの再構築を図るブランドも多く、クロップドパンツやスカート、コートをレイヤードする新しい試みも見られます。注目の「プラダ」は、今年1月開催のメンズコレクションに続き、貴族を思わせるようなスタイルを発表。モーニングコートやロングジレには、ブローチのような大ぶりのビジュアを配置し、幾何学的な生地の上にのせていました。あえてコレクションテーマを設定していませんが、「美しいもの」「ファッション」に対して真摯な姿勢で向き合っているようです。ドレスやスカートにクロップドパンツを合わせたスタイルは、

今後のトレンドに大きな影響を与えそうです。そのほかにも「グッチ」「マルニ」「フェンディ」などが、従来のフォルムを変えるようなボリューム感でコートやドレスを制作、一様に強い女性像を打ち出したのがシーズントレンドに浮上しています。

一方、ノブブルで強い女性像が台頭したことで、ナチュラル傾向が強かったヘアメイクが大きく変化しました。黒のアイライナーやアイブローは幾重にも重ね、目元は非常にダークな仕上がり。コントラストを効かせるように、ホワイト系のファンデーションを採用するブランドもありました。ちなみに12年春夏シーズンは、1920年代のアール・デコや1950年代のハリウッド女優を彷彿させるコレクションが多く、メイクではマカロンカラーやヌーディーなカラーが数多く見られます。しかし、12-13年秋冬シーズンはマスキュリンなコレクションが展開されており、かつ貴族的なスタイルが主流。“クラシック”な雰囲気を持ち合わせ、目元でスモーキーなダークブルーやブラウンを使うメゾンも。またリップを塗らず、ファンデーションで唇の色を抑える表現もあり、グラマラスなリップとは一線を画しています。

3. ハワイNOW

①久振りのホノルルからレポートです。オアフ島の人口は100万人で日本人が30万人。日本からの観光客は年間で200万人（毎日4千人～8千人）だそうですが、昨年の震災以降は長期滞在者が急速に増えているようです。ここにいると米国の西海岸と日本が融合した不思議な感覚に捉われます。全米でも最大規模のスーパーリージョナル型のアラモアナSCの現状を見ると、急速にグローバル化していく日本のSCの将来が見えてきます。核テナントの一つである「シアーズ」は一挙にSC化戦略を始め再建を図ろうとしています（日本の多くの百貨店がSC化に活路を見出しているのと似ています）。又、ファッション関連の人気店、注目点はトリーバーチ、Jクルー、クラブモナコ、ホリスター、フォーエヴァー21、等々です。これにロイヤルハワイアンセンターやDFSを見ると圧倒的人気のマークバイジェイコブスとロイヤルハワイアンセンター南に昨年オープンした大型のフォーエヴァー21が加わります。逆に全く客がいなく閑散としているのは、バナナリパブリックや日本上陸になったBEBEや上陸間近かなアメリカンイーグル、トミーバハマ等です。これらのブランドは恐らく日本でも苦戦するのが現地を歩くと良く見えます。

飲食ではハワイのパンケーキと卵料理エッグスン・スイングスのサラトガ通り旗艦店は朝から行列です。未だに日本でも原宿の同店は雨の日でも長蛇の列です。ローカルにも日本人にも支持される店は日本進出も成功する可能性大であることがこのエリアを見て再認識したハワイでした。

② Ko Olina Golf Club プロショップにみるコラボレーション

オアフ島ではLPGAのトーナメントも開催され人気のゴルフ場Ko Olina はてんとう虫のシンボルマークで日本でもファンが沢山います。ここのプロショップのウェア、帽子等々は全てどこかに「てんとう虫」のマークが付いていて人気グッズです。従来は殆どがオリジナルでしたが、最近是有名ブランドとのコラボ商品が大勢を占めるようになりました。ポロシャツやキャップを例に取りますと、ラルフローレン、トミーバハマ、ナイキ、トミーフィルフィガー、アディダス、アンダーアーマーとなんと6ブランドとのコラボ商品とオリジナルです。最近のファッション業界はデザイナーやブランドとのコラボが流行っていますが、ここまで徹底するとそれぞれの特徴を一堂に見ることが出来、つついまとめ買いしてしまいます。スポーツブランドとのコラボの流れはファッション業界では益々拡大することでしょう。

4. 祇園にしむら

祇園の花見小路通りの裏にある「祇園にしむら」。ご主人の西村元秀さんは「吉兆東京」で修行を積み 29 才でこの店をオープンしました。カウンター席 8 席、個室 3 部屋のこぢんまりとしたお店です。この割烹的な料理屋のカウンターに座って食事をいただきました。こういった京都の割烹料理屋は総じて東京の人間には敷居が高く、あまり居心地の良いところではありませんが、ここの鯖寿司は天下一品との噂を聞きつけ訪れてみました。ところがカウンターの中のご主人はとて感じがよく、途切れる事なく会話が進み、お料理は然ることながら本当に楽しい時間を過ごす事ができました。コースは 4 種類あり電話予約の時にどれにするかお願いします。初めて訪れたのでとりあえず下から 2 番目のコースを頼んでみました。どのお料理も見た目はシンプルですが、上品な美味しさです。お造りの魚は上質で、器も趣のあるものばかりです。椀ものも言う事なしのできればえですが、中でも絶品だったのが胡麻豆腐と噂の鯖寿司でした。自家製の胡麻豆腐に胡麻の風味たっぷりのソースと柚子の組み合わせが絶妙です。京都といえば鯖と干枚漬けというご主人の発想からできあがったこの鯖寿司は、鯖寿司を干枚漬けで巻いてある今までには見た事がないものでしたが、一口食べた途端にあまりの美味しさに会話を忘れた位です。これは間違いなく京都で 1、2 を争う美味しさです。こういった京都の割烹料理屋のコースで ¥10500 からといったお値段はこの内容でしたらかなりレベルの高いものだと思います。個室のお客様は別のお客様と顔を会わせない様に配慮したりと、細かい所まで気遣いが行き届いているのも気持ちの良いものです。これからのお花見の季節、京都にいらっしゃる機会がありましたら、是非推薦したい割烹料理屋です。

夜のお任せコース ¥10500、¥12600、¥15750、¥21000 (別途サービス料 15%)

京都市東山区祇園町南側 570-160 TEL: 075-525-2727

営業時間: 17:00~20:00 (入店)

定休日: 日曜日 要予約 カード利用不可

<ランチスポット>

5. irving place

白金台の「Adam et Rope Biotop」の 3 階にある素敵なカフェ「irving place」は heads の山本氏のプロデュースによるものです。もともとこちらのお店自体も素敵ですが、このカフェに 1 歩足を踏み入れたときのホッとするような気持ちは格別です。大きなガラスと木でできている扉を開けると、使い込まれたような風合いのウッ드의家具がまず目に飛び込んできます。そして緑たっぷりのテラス席。都会とは思えない開放的な空間です。ランチはフリーのサラダバーがあって、これが見た目もヘルシーで味付けも最高です。メインはパスタやサンドイッチなど、こちらの味は今一つですが、サラダバーのあまりの美味しさに皆おかわりをしています。犬を連れてくるお客様やシロガネーゼなどおしゃれな人達のたまり場になっています。平日のランチ時もほぼ満席状態です。最近話題の代々木 VILLAGE といい、グリーンの中でのリラックスする空間が 1 つ大きなトレンドになっている様です。お茶をするにも最高の場所ですし、夜も遅くまでやっているのも便利です。

ランチでお茶は別で ¥1000 位~。

東京都港区白金台 4-6-44 Adam et Rope Biotop 3F TEL: 03-5449-7720

営業時間: 月~土 11:00~26:00

日 11:00~23:00

無休